

本資料について

- 本資料は、静岡大学防災総合センター牛山研究室による災害発生直後の調査に関する基礎資料を整理したものである
 - 被害発生状況や被災場所は、報道の記事や画像・動画、住宅地図、Googleストリートビュー、災害前後の空中写真など一般的に入手可能な情報と、筆者の現地での観察、一部現地関係者から得られた情報などをもとに推定している
 - 現地調査: 2026/8/15、8/22
 - 提示された情報は確定的なものではなく、今後発表する報告等では修正される場合がある
 - 本資料は、2026年9月上旬までに得られた資料をもとに作成しており、資料公開後は原則として修正は行っていない
 - 筆者は1999年以降に日本で発生した風水害を対象に、人的被害(死者・行方不明者)の発生状況についての調査(牛山ら、2026など)*を継続しており、本資料で提示した調査もこれらの調査の1つとして行ったものである

*牛山素行・本間基寛・向井利明・杉村晃一: 2024年の風水害による人的被害発生場所の特徴、東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究・調査研究編、Vol.42、pp.105-164、2026

2026年8月13日からの大雨に伴う災害 調査速報 人的被害発生場所について

静岡大学防災総合センター
牛山素行

2026/8/14作成開始、2026/9/15更新版

1

筆者の調査における 人的被害をもたらした 原因外力の分類と定義



1999～2023年の風水害による死者・行方不明者1547人

分類名	定義
高波	沿岸部での犠牲者全般。高潮による浸水に伴うものは含まない。
強風	風による犠牲者全般。竜巻等も含む。
洪水	在宅中、又は移動や避難の目的で行動中に、河道外で、浸水、洪水流に巻き込まれ死亡した者。高潮による浸水も含む。
土砂	在宅中、又は移動や避難の目的で行動中に、土石流・崖崩れなど、あるいはそれらに破壊された構造物によって生き埋めとなり死亡した者。洪水との判別が困難な場合、被災場所付近の勾配3度以上の場合は土砂、3度未満の場合を洪水とする。
河川	在宅中、又は移動や避難の目的で行動中に、溢水していない河川や用水路の河道内に転落して死亡した者。
その他	他の分類に含むことが困難な犠牲者。

3

2026年8月13日からの大雨

人的被害発生場所の概略図



地理院地図に加筆

地理院地図

4

人的被害の概要

- 人数*
 - 死者13人
 - 9/3千葉県資料では死者中4人は「災害起因性について精査中」。本稿では以下「その他」1人を除く12人を暫定的な直接死者として検討。
 - 同資料では行方不明者1人だが、9/9消防庁資料では死者13人のみ
- 原因外力
 - 洪水 11人
 - 河道外で、浸水、洪水流に巻き込まれ被災したとみられるもの
 - 河川 1人
 - 溢水していない河川や用水路の河道内に転落して被災したとみられるもの
 - その他 1人
 - 一酸化炭素中毒により死亡
 - 1999～2023年の風水害犠牲者**では4割強が土砂、4割強が水関連(洪水又は河川)。本事例は水関連犠牲者の比率が高い

*千葉県：第8回千葉県災害対策本部会議資料、<https://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/bousai/documents/202609038.pdf>、2026年9月3日(2026年9月8日参照)

**牛山素行：1999～2023年の風水害人の被害に関する基礎的特徴、日本災害情報学会第30回学会大会予稿集、p. 149-150, 2025

5

被災場所の概要

- 「洪水」、「河川」の12人は全員が屋外で被災
 - 1999～2023年の風水害犠牲者*では、土砂では8割が屋内、水関連では7割が屋外。水関連犠牲者で屋外での被災が多いことは、これまでの事例と同傾向
 - 発災後約2週間時点で全壊3棟との報告**であることから、洪水、土砂いずれについても家屋の倒壊・流失という被害形態は極めて限定的
 - 近年の水害では最終的に全半壊の数が多くなるが、その多くは床上浸水が判定替え(床上1.8m以上で全壊となる)されたもの
- 風雨が激しい中での屋外行動の危険性を改めて感じさせられる

*牛山素行：1999～2023年の風水害人の被害に関する基礎的特徴、日本災害情報学会第30回学会大会予稿集、p. 149-150, 2025

**総務省消防庁：令和8年8月千葉豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第18報)、<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20260813chibagouu18.pdf>、2026年8月27日(2026年8月27日参照)

6

被災場所のハザードマップ情報

下線は9/3千葉県資料で「災害起因性について精査中」。以降ページでも同じ。

- 洪水浸水想定区域の範囲内：5人
 - 市川市二俣、佐倉市上座、千葉市若葉区北谷津、千葉市中央区村田町、千葉市中央区稲荷町
- 内水浸水想定区域の範囲内：2人
 - 柏市八幡町、八千代市上高野*
 - *内水の浸水実績(市ハザードマップ)
- いずれも範囲外：2人
 - 佐倉市上志津、いすみ市万木
- 被災場所不詳：3人
 - 千葉市若葉区和泉町、千葉市若葉区中野町
 - 内水浸水想定区域範囲内(市ハザードマップ)の可能性がある
 - 市原市東国吉
 - 範囲外の可能性がある

今後の対策を考える上では、内水氾濫的な被災にも様々な形態があることに注意が必要

7

河道外で、浸水、洪水流に巻き込まれ被災したとみられるもの 一般的な洪水浸水想定区域での被災

被災場所と推定される付近を概念的に示したもの



市川市二俣
・洪水浸水想定区域

千葉市中央区村田町
・洪水浸水想定区域



こうした被災形態は、これまでの風水害事例でも繰り返し発生してきた。千葉市中央区の2箇所はアンダーパスの被災だが、ハザードマップとの関係で見れば洪水浸水想定区域の範囲内。

一般的な洪水浸水想定区域では、当然内水氾濫の危険性があることは、さらに周知していく必要がある

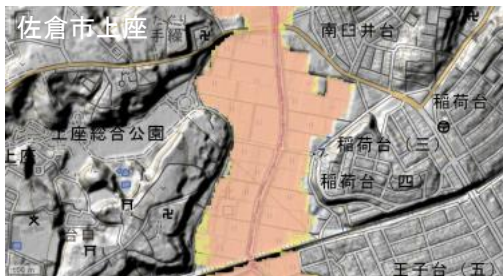
「重ねるハザードマップ」により作成 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を表示

8

河道外で、浸水、洪水流に巻き込まれ被災したとみられるもの

中小河川付近での被災

被災場所と推定される付近を概念的に示したもの



千葉市若葉区北谷津町

・洪水浸水想定区域

市原市東国吉

・被災場所不詳だが、発見場所は中小河川付近と推定される。洪水浸水想定区域、内水浸水想定区域いずれも範囲外

千葉市若葉区和泉町、中野町

・被災場所不詳だが、発見場所は中小河川付近と推定される。千葉市ハザードマップでは内水浸水想定区域



2026/08/22 牛山撮影

こうした被災形態は、これまでの風水害事例でも繰り返し発生してきた

中小河川付近は当然内水氾濫の危険性があるが、洪水浸水想定区域に未指定のケースがまだある

「重ねるハザードマップ」により作成 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を表示

9

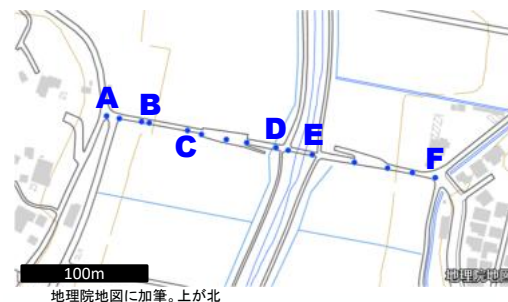
2026年8月13日からの大雨

千葉県

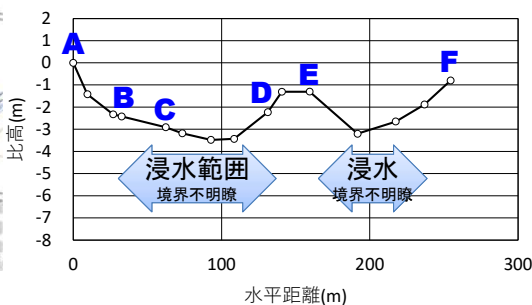
佐倉市上座

(さくらじょうざ)

2026/8/22現地計測、数字はA地点を0mとした比高。B～Dの間が浸水(境界不明瞭)。C地点の北方水田中に、被災したタクシーが確認される。付近の浸水深は不詳だが、B、D地点から最も低い箇所との比高は1.1～1.2mで、浸水深はこの程度と推定。



A～B地点付近からF地点方向
2026/08/22 牛山撮影

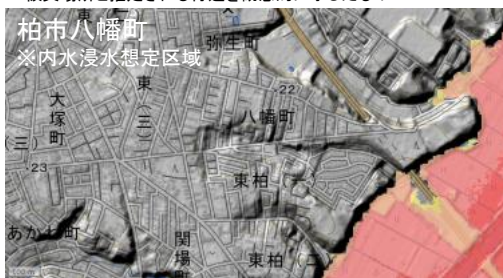


10

河道外で、浸水、洪水流に巻き込まれ被災したとみられるもの

河川から離れた場所での被災

被災場所と推定される付近を概念的に示したもの



八千代市上高野

※八千代市ハザードマップでは「過去の内水浸水箇所」

佐倉市上志津

・洪水浸水想定区域、内水浸水想定区域とも範囲外



2026/08/15 牛山撮影・一部加工

- ・河川から離れた場所にある水路等に転落・死亡する事例は多数見られる
- ・洪水・浸水で、河川から離れた場所で死亡する被災形態は、1999年以降の風水害事例でほとんど例がない

一般的な洪水浸水想定区域や、中小河川付近から離れた場所では、地形的に洪水・浸水の可能性があっても、それを認識されにくい可能性がある

「重ねるハザードマップ」により作成 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を表示

11

2026年8月13日からの大雨

千葉県

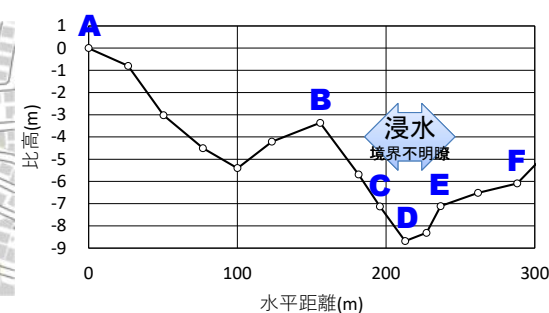
柏市八幡町

(かしわしはちまんちょう)

2026/9/10現地計測、数字はA地点を0mとした比高。C西側～E東側の間が浸水(境界不明瞭)。D地点付近に被災した車が水没していたとみられる。D地点付近で浸水深約2.1m。



B地点からF地点方向
2026/08/22 牛山撮影・一部加工



12

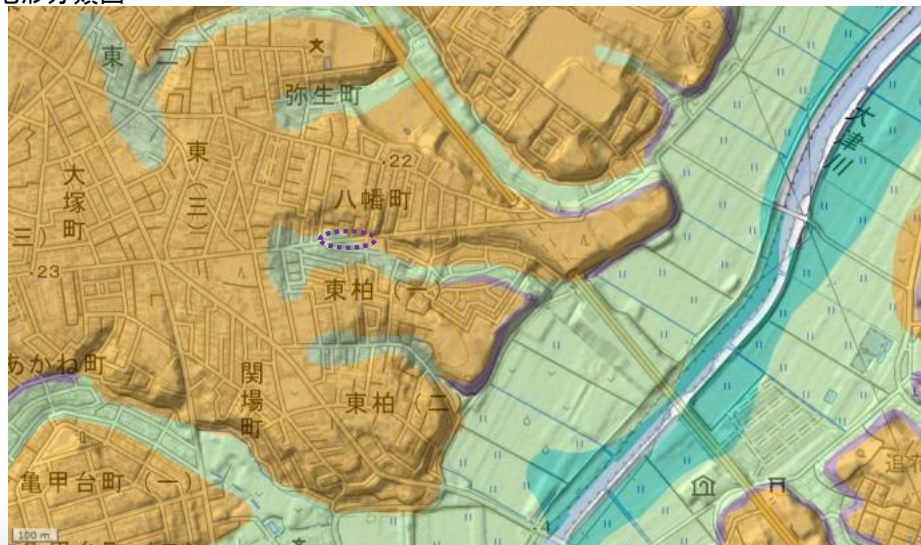
千葉県

柏市八幡町

(かしわしはちまんちょう)

被災場所付近の

地形分類図

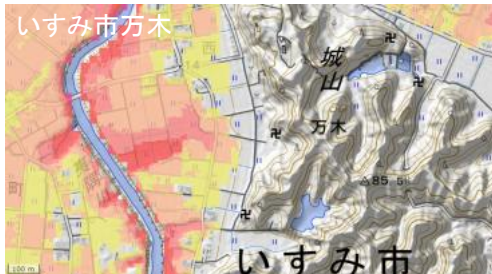


重ねるハザードマップに加筆

被災場所付近は大津川沿いの氾濫平野につながる小さな谷の上流部。地形分類図では台地内の「凹地・浅い谷」と分類されているが、台地や氾濫平野との境界位置は厳密なものではない。「凹地・浅い谷」は学術的な大分類では台地となるが、大雨の際には水が集まりやすく浸水の可能性がある場所。なおこの付近は地形改変(切土、盛土)もかなり行われている。

洪水浸水想定区域範囲外での被災

被災場所と推定される付近を概念的に示したもの



2026/08/23 牛山撮影

今回は目立たないが、風水害人的被害の2割弱を占める被災形態であり、浸水想定区域内外に関わらず、河川・水路に近づかないことの周知が重要

「重ねるハザードマップ」により作成 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を表示

14

被災場所の地形

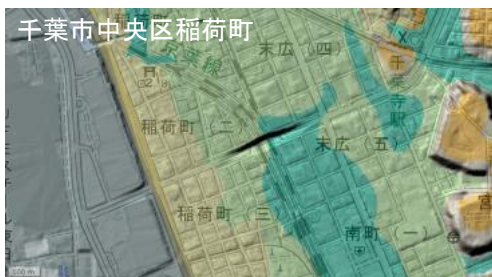
- 低地:7人
 - － 市川市二俣、佐倉市上座、千葉市若葉区北谷津、千葉市中央区村田町、千葉市中央区稲荷町、八千代市上高野、佐倉市上志津
- 台地:2人
 - － 柏市八幡町*、いすみ市万木**
 - ・*学術的な大分類では台地だが、「大雨の際に一時的に雨水が集まりやすく浸水のおそれがある」とされる「凹地・浅い谷」
 - ・**被災形態は洪水に流されたのではなく、増水した水路に転落と思われる
- 被災場所不詳:3人
 - － 千葉市若葉区和泉町、千葉市若葉区中野町、市原市東国吉
 - ・低地の可能性がある

洪水により被災したとみられる場所は、全て地形的に洪水・浸水が発生する可能性のある場所とみられる。後述のような課題があるものの、地形分類図の情報が重要であることは改めて感じられた

15

被災場所付近の地形分類図

被災場所と推定される付近を概念的に示したもの



千葉市中央区稲荷町、佐倉市上座は「低地」(氾濫平野・海岸平野)。柏市八幡町は台地だが浸水の可能性がある「凹地・浅い谷」

「重ねるハザードマップ」により作成

16

内水ハザードマップの問題点



- 「内水ハザードマップ」ばかりが注目され、その想定「だけ」を覚え込まれてしまうと、その場所で本来起こりうる、はるかに大規模な洪水の想定が見落とされるおそれがある
- 情報利用者に対しては、内水、外水の区別無く一体的に示すことが重要ではないか

「重ねるハザードマップ」により作成 山梨県甲府市付近

17

内水ハザードマップの問題点

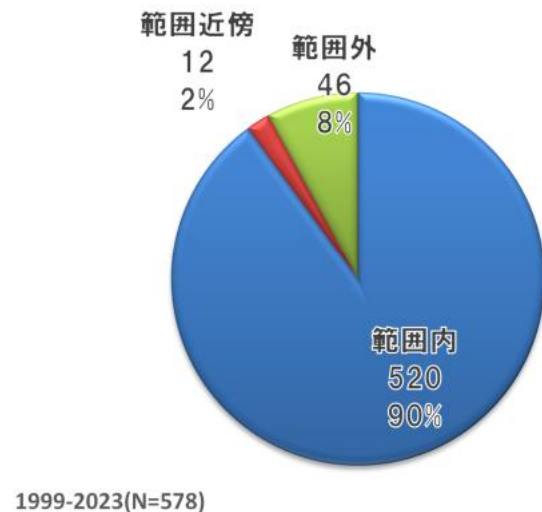


- 「内水ハザードマップ」を作成しても、地形的に洪水・浸水が起こりうるところで、内水・洪水いずれの浸水想定区域にもならないところは相当程度残る

「重ねるハザードマップ」により作成 千葉県一宮町付近

18

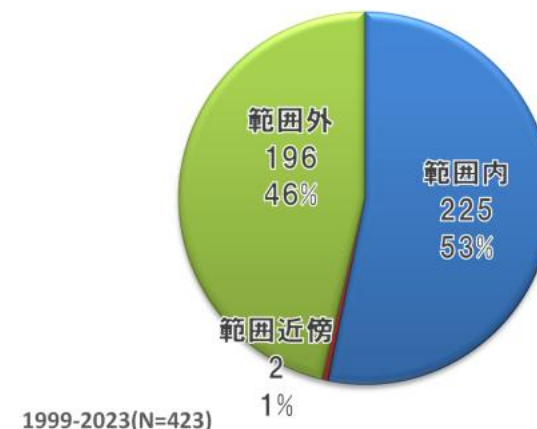
土砂災害死者・行方不明者の被災位置と土砂災害警戒区域等の関係



- 土砂災害警戒区域、土石流危険渓流、土石流危険区域、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所のいずれか。2023年以降は土砂災害警戒区域のみ。「重ねるハザードマップ」で参照。2018年以前の事例は2018年時点で参照、2019年以降は被災から数ヶ月以内に参照。
- 範囲近傍とは土砂災害警戒区域等から30m以内程度を指す。地図上の誤差の範囲内程度との意味。

19

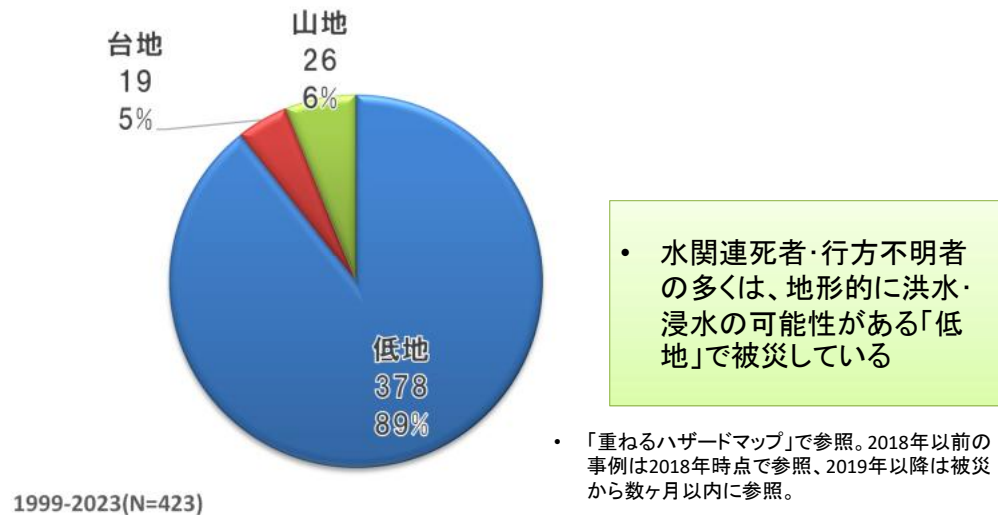
水関連死者・行方不明者の被災位置と洪水浸水想定区域の関係



- 中小河川の洪水浸水想定区域指定作業が進行中
- 現在の「重ねるハザードマップ」で判読すれば、「範囲内」の比率はもっと高い
- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)、洪水浸水想定区域(計画規模)のいずれか。「重ねるハザードマップ」で参照。2018年以前の事例は2018年時点で参照、2019年以降は被災から数ヶ月以内に参照。

20

水関連死者・行方不明者の被災位置と地形の関係



牛山素行：1999～2023年の風水害人的被害に関する基礎的特徴、日本災害情報学会第30回学会大会予稿集、p. 149-150、2025

21

地形分類図には問題もあるが

- メリット
 - 洪水ハザードマップでも内水ハザードマップでも見落とされやすい、地形的に洪水・浸水の可能性がある場所を確認できる
- デメリット
 - 地形の境界(台地と低地など)の位置はそれほど明確なものではない
 - 半世紀以上にわたり作り続けられ、更新は十分できておらず、古い時期に作成されたものは精度が低いことがある
 - 利用資料や作成方法により、同じ場所が異なる地形に分類されるようなこともある
 - 山間部や地方部を中心に、未整備の地域もある
 - 洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、低地のいずれかの居住者は全人口の7割程度*。低地も加えると「災害リスクのある区域等」にいる人はかなりの数に上ることになる
 - 立退き避難を呼びかける対象を見直すことも必要ではないか
- 厳格に読み込むべきものではないが、ハザードマップを補助する情報としてもっと予算を付けて作成・更新を推進し、活用してもよいのでは

*本間基寛・牛山素行：全国及び都道府県別の大雨時要避難者数の試算、災害情報、Vol.22、No.2、pp.195-206、2024

22

車関係の被災

- 車で移動中被災とみられる：4人
 - 相対的な高所から河川付近の低所へ進入
 - 佐倉市上座
 - 相対的な高所から小さな谷状の低所へ進入
 - 柏市八幡町
 - 浸水したアンダーパスに進入：2人
 - 千葉市中央区村田町、同稲荷町

23

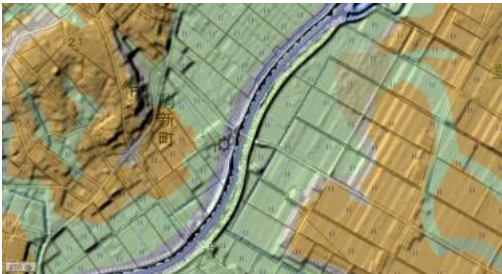
アンダーパスでの被災について

- 1999年以降の被災事例(筆者調査による)
 - 車移動中：8人
 - 1999年6月北九州市(1人)、2004年11月浜松市(1人)、2008年8月鹿沼市(1人)、2010年7月可児市(3人)*、2016年清須市(1人)、2019年9月いなべ市(1人)
 - *近接した河川の氾濫によるもの
 - 徒歩移動中：2人
 - 2022年7月近江八幡市(1人)、2023年7月太宰府市(1人)
- アンダーパスにおける防災対策の推進は当然重要
- 風水害全体では、車被災の大多数は「アンダーパス以外の場所」であることにも注意が必要
 - 1999～2023年で車(自転車、バイク含)の被災は227人
 - 特に洪水・浸水に伴う車被害では、佐倉市上座のような、高所から河川付近の低所に進入し流されるケースがほとんど。また、河川沿いを走行中転落というケースもアンダーパス被災よりはるかに多い

24

高所から低所に向かう道での表示例

- 愛知県豊田市駒場町
 - 2000年9月12日、大雨後に浸水した河川沿いの低地で道路から水田に車が転落、40代女性が死亡
 - 被災箇所付近に冠水注意の看板
 - この被災を契機としたものかどうかは不明



「重ねるハザードマップ」により作成
[参考] NHK:東海豪雨から25年 犠牲者10人の被災状況から見たことは、2025年9月10日、
<https://news.web.nhk/newsweb/na/nb-3000043896> 25

防災気象情報との関係

被災時間帯(厳密なものではない)が推定された8人

- 警報等
 - 危険警報:3人
 - 特別警報:5人
 - 大雨危険警報発表から発災まで最短約30分
- キキクル
 - 黄(注意):1人(雨脚が弱まった後の被災)
 - 赤(警戒):0
 - 紫(危険):1人
 - 黒(災害切迫):6人
 - 浸水または洪水キキクル紫表示から発災まで最短約50分

十分な余裕時間があつたわけではないが、警報等の発表や、キキクルの表示が、間に合っていないといった状況ではない 26

2026年8月13日の大雨

千葉県
柏市八幡町
(かしわしはまんちょう)

被災時間帯の防災気象情報の状況
時間帯は推定値であり、数十分程度の幅がありうる

参考文献
銚子地方気象台：令和8年8月千葉豪雨に関する千葉県気象速報（第2報）、https://www.jma-net.go.jp/choshi/shosai/doc/sokuhou/20260813_2.pdf、2026（2026年8月19日参照）

被災時間帯	2026/8/13 17:40頃	
原因外力	洪水	
極値更新	○	2時間
キキクル	災害切迫(5)	浸水
警報等	危険警報(4)	大雨、土砂
線状降水帯	×	
記録雨	○	

柏市八幡町 2026/08/13 14:00 ~ 2026/08/13 18:00 二次細分区： 柏市 千葉県北西部
被災時間帯： 2026/08/13 17:40頃 ▼▼▼

時刻	14	15	16	17	18	備考
氾濫警報等						
大雨警報等	2	3	3	3	3	1410L3,1702L4,1930L5
土砂災害警報等	2	2	2	2	2	L3無,1702L4
[速報]記録的短時間大雨					◆	1728:1946
[速報]線状降水帯発生					◆	1758:2058;0208
[速報]線状降水帯直前予測						1858:1928;2038;2248
浸水キキクル	2	2	3	3	3	53396728
洪水キキクル						除外格子
土砂キキクル	1	1	1	1	1	53396728

警報等：注意報、警報、危険警報、特別警報のレベルを数字で表記 [速報]：気象防災速報の発表時に◆と表記 ▼：推定された被災時間帯を幅を持って記載 備考欄：警報等は発災時間帯前で直近の発表時刻を記載。キキクルは参照した3次メッシュコードを記載。 27

2026年8月13日の大雨

千葉県
佐倉市上座
(さくらしじょうざ)

被災時間帯の防災気象情報の状況
時間帯は推定値であり、数十分程度の幅がありうる

参考文献
銚子地方気象台：令和8年8月千葉豪雨に関する千葉県気象速報（第2報）、https://www.jma-net.go.jp/choshi/shosai/doc/sokuhou/20260813_2.pdf、2026（2026年8月19日参照）

被災時間帯	2026/8/13 23:50頃	
原因外力	洪水	
極値更新	○	1～6時間
キキクル	注意(2)	浸水、洪水、土砂
警報等	特別警報(5)	大雨、土砂
線状降水帯	○	1758,2058
記録雨	○	1858;1946;2117

佐倉市上座 2026/08/13 20:00 ~ 2026/08/14 00:00 二次細分区： 佐倉市 千葉県北西部
被災時間帯： 2026/08/13 23:50頃 ▼▼▼

時刻	20	21	22	23	00	備考
氾濫警報等						
大雨警報等	5	5	5	5	5	1702L2;1815L3;1836L4;1930L5
土砂災害警報等	4	4	4	4	4	1717L2;1836L4;
[速報]記録的短時間大雨			◆			1858:1946;2117;
[速報]線状降水帯発生			◆			1758:2058;0208
[速報]線状降水帯直前予測		◆				1858:1928;2038;2248
浸水キキクル	5	5	5	5	5	53404173
洪水キキクル	5	5	5	5	5	53404173
土砂キキクル	4	4	4	4	4	53404173

警報等：注意報、警報、危険警報、特別警報のレベルを数字で表記 [速報]：気象防災速報の発表時に◆と表記 ▼：推定された被災時間帯を幅を持って記載 備考欄：警報等は発災時間帯前で直近の発表時刻を記載。キキクルは参照した3次メッシュコードを記載。 28

千葉県
千葉市中央区稲荷町
(ちばしちゅうおうくいなりちょう)

被災時間帯の防災気象情報の状況
時間帯は推定値であり、数十分程度の幅がありうる

参考文献
銚子地方気象台：令和8年8月千葉豪雨に関する千葉県気象速報（第2報）、https://www.jma-net.go.jp/choshi/shosai/doc/sokuhou/20260813_2.pdf、2026（2026年8月19日参照）

被災時間帯	2026/8/13 19時頃	
原因外力	洪水	
極値更新	○	1～4時間
キキクル	災害切迫(5)	浸水
警報等	危険警報(4)	大雨、土砂
線状降水帯	○	1758
記録雨	○	1846

千葉市中央区稲荷町2026/08/13 16:00 ～ 2026/08/13 20:00二次細分区：千葉市千葉県西北部

被災時間帯：2026/08/13 19時頃



時刻	16						17						18						19						20	備考		
氾濫警報等																												
大雨警報等		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	1540L2;1744L3;1815L4;1930L5	
土砂災害警報等		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1532L2;1800L4;2155L5	
[速報]記録的短時間大雨																											1846;1957;2148;2318;2340;2351;	
[速報]線状降水帯発生													◆														1758;2058;0208	
[速報]線状降水帯直前予測																				◆			◆				1858;1928;2038;2248	
浸水キキクル		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	53403100	
洪水キキクル																											除外格子	
土砂キキクル		1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	53403100	

警報等：注意報、警報、危険警報、特別警報のレベルを数字で表記 [速報]：気象防災速報の発表時に◆と表記 ▼：推定された被災時間帯を持って記載 備考欄：警報等は発災時間帯前で直近の発表時刻を記載。キキクルは参照した3次メッシュコードを記載。